

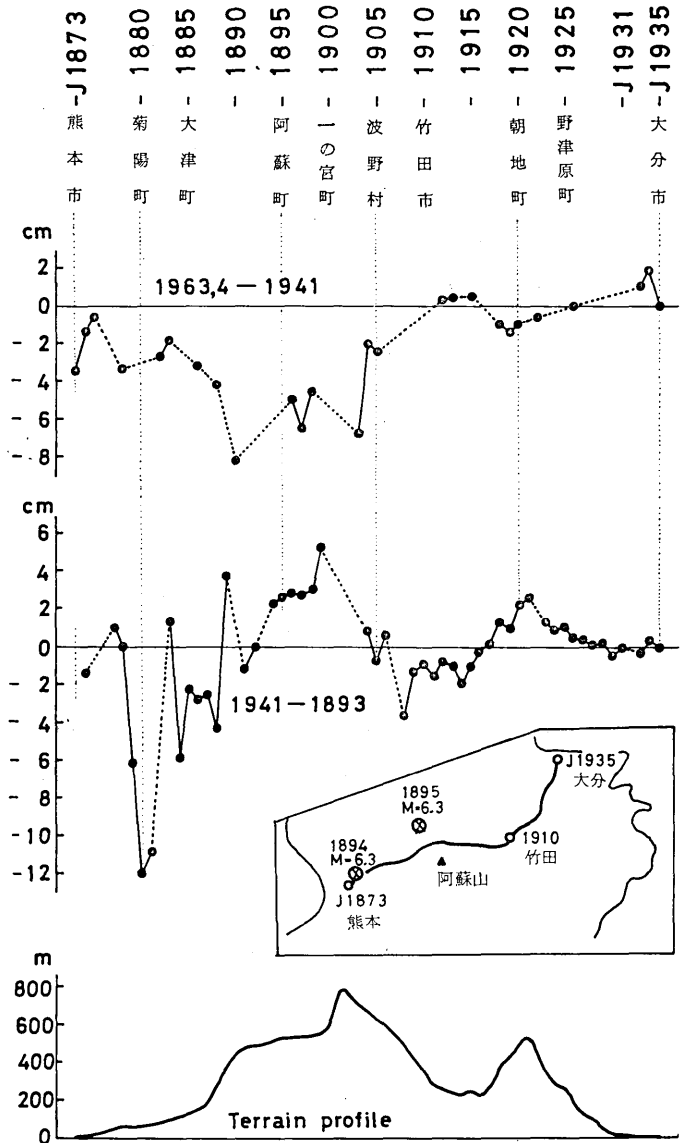
阿蘇地方の上下変動および重力変化について*

国土地理院

阿蘇地方の一等水準測量は、過去3回(1893・1941・1963)行なわれている。第1図はこの間の上下変動を示したものである。1941-1893年の上下変動は下段に示した地形とよく似ており、また1963,4-1941年の変動図は逆の傾向を示しているように見える。これは標尺の系統的な誤差が含まれていることも考えられる。なお……は水準点の亡失等によって上下変動が求められない区間である。

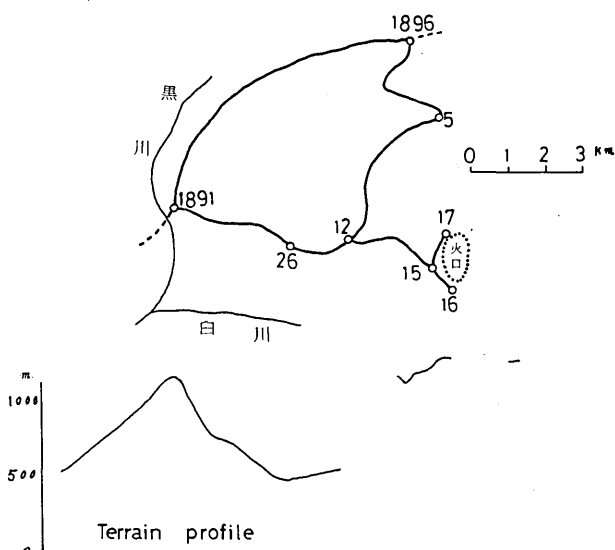
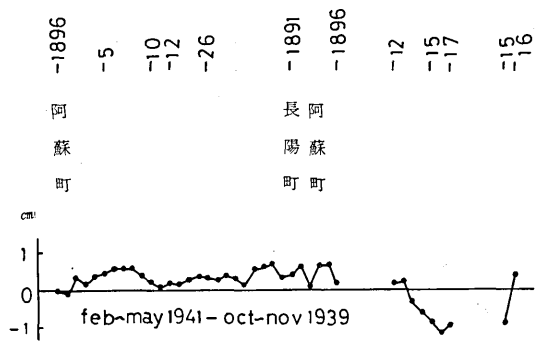
第2図は京都大学の委託で阿蘇山周辺の一等水準測量を行ったときの1941-1939年間の上下変動である。

第3図はこの地域の水準点での重力変化図である。第1回目は1959年ノースアメリカン重力計で、第2回目は1965-66年にラコスト重力計。ウォルドン重力計で、第3回目は1974年ラコスト重力計と、それぞれ機種・機番の異なった重力計による結果であり、定数の違いも考慮しなければならないが、とりあえず潮汐補正と水準点標石の球分体上の値に高度補正したものを、B.M.1899および1890を仮不動として変化を示したものである。

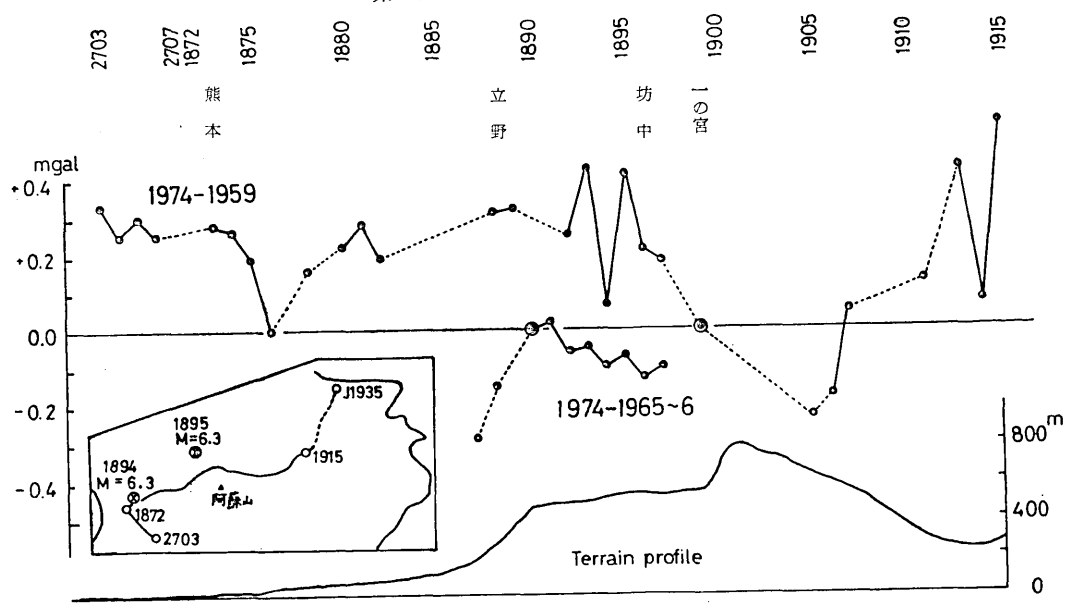


第1図 熊本市, 大分市間の上下変動

* Received Apr. 10, 1975



第2図 阿蘇付近の上下変動



第3図 阿蘇付近の重力変化, 1959 (GSI), 1965~6 (ERI, Kyoto Univ.), 1974 (GSI)

- 前後の観測とも同一の場所で測った点
- 前後の観測で同一の場所ではなかった点